

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0195300181		
法人名	株式会社ケアサポートすまいる		
事業所名	グループホームすまいる		
所在地	北海道網走市字呼人214番地2		
自己評価作成日	2017年3月21日	評価結果市町村受理日	平成30年2月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL http://mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigvosvoCd=0195300181-00&Pr

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 NAVIRE
所在地	北海道北見市とん田東町453-3
訪問調査日	平成29年3月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

昨年オープンしたばかりで明るく広々としています。庭も広くたくさんの花や草木を植えてあり、室内からでも季節を感じていただけるように工夫しています。畑仕事が好きな利用者様と一緒に野菜作りにも挑戦しており、秋にはたくさん収穫することができました。また、地域の方々やご家族やお友達が気軽に訪問していただけるよう、明るい雰囲気作りを心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

デイサービス事業に取り組む中で、利用者の行く先を作ろうと利用者家族の後押しを受け呼人地区にグループホームすまいるは平成28年に開設しています。「利用者の意思を尊重し、自立と自己実現に向けてその方らしく暮らせるよう支援させていただきます」を理念に職員は利用者によくの時間を費やせるよう調理には専門職員を配置して取り組んでいます。さらに施設長は職員の主体性を大切に考え、理念から再構築を進め自分が利用するとならどう言う介護が受けたいかを命題として検討を行っています。開設してから1年が経過した現在、全員で会議の中で振り返り、多くの点で取り組みが少なかったとの反省から平成29年度は冬期間になる前に外出や楽しい事を計画したいと考えています。自然に囲まれている地区ではありませんが近くには大学運動部の男子寮や住宅が点在しており、町内会にも理解を得て協力体制を構築しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input checked="" type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input checked="" type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが <input checked="" type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが <input checked="" type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者・職員は「利用者様の意思を尊重し、自立と自己実現に向けてその方らしく暮らせるよう支援させていただきます」のもと、その理念を実践できるように日々努力をしている。	グループホーム開設後施設長が、自立と自己実現に向けての支援に取り組む事を目指した理念を作成して玄関に掲示して職員の意識共有と実践に努めています。二年目に入り再構築すべく全体で話し合いを行っています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元のボランティアの方々の来訪や、町内会の加入、運営推進会議での活況報告など、地域の皆さまとの交流に努めている。	建設前に地域の町内会役員へ挨拶を行い、会合で説明を行い理解を得ています。当初から協力的であり、一緒に清掃活動を行ったり、回覧板、広報、便りの配布を受けており友好的な交流が行われています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営会議などを通して認知症の方の理解、グループホームへの理解が深まるように努力をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会議は利用者様ご家族のほか、町内会からも参加いただいております。寄せられたご意見をサービスの向上に役立てています。二か月に一度の開催を実施できるよう努めたい。	運営推進会議は、利用者家族、町内会役員、市担当者、地域包括支援センター職員の出席を得て開催し利用状況、行事報告を行い意見を得て運営に活かしています。	年6回の定期的な開催と欠席した利用者家族との情報共有を期待します。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営会議に参加されているほか、苦情の対応など相談させていただいている。	市担当者とは運営推進会議へ複数の担当者の出席を得ている他、月2, 3回報告書提出や指導、助言を得るため積極的に訪問しており協力関係を築くよう取り組んでいます。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての定期的な研修会を開催、職員の意識向上に繋げていきたい。玄関は施錠してはいるが中からは利用者が開けづらい構造になっている。夜間は安全のため施錠している。	身体拘束については、研修を行い、心身に及ぼす弊害や指定基準の具体的禁止項目の理解に努めてさらに、不適切な言動についても指導して介護に努めています。	緊急やむを得ない身体拘束に関する説明及び経過観察記録についての取り組みを期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についてのマニュアルを作成し、職員の理解と啓発に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護についての研修をまだ実施していないので、早急に研修会で権利擁護の理解を深めるようにしていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前に、必ず重要事項説明書の内容を説明し、納得した上で入所していただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や、ご家族へ向けたアンケート調査を実施してサービス向上につなげている。また、ご家族が来所されたときにご要望などを伺うようにしている。	利用者、家族の意見や要望は日常の会話や面会時に把握しています。また、家族アンケートを行い運営、サービス向上に反映させています。	面会時に家族との会話を行っていますが、更に多くの情報提供を期待します。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、利用者様の状況など職員に質問・相談しながら、十分に意見を反映させている。	職員の意見や提案は全体会議の中で把握し運営に反映させています。理念、目標、行事と自分たちでの取り組みを期待しており現在改革を行っています。また、毎月内部研修に取り組み資質向上を目指しています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、日頃から管理者や職員のストレスや心配事が軽減できるよう環境・関係作りに配慮しており、いつでも相談できるように努力している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症実践者研修・初任者研修に参加した実績がある。また日々の中で指導する職員が、新人職員にその都度詳しいケア内容を指導することで、職員の育成に繋がっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者は地域のグループホーム部会に加入しており、月一回の会合の際に交流・情報交換等に努めている。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前にご本人だけではなく、ご家族またはケアマネージャー等に話を伺い、良好な関係作りをこころがけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前にご本人・ご家族とお会いして、これまでの生活の状態、これからご希望される生活について伺い、できるだけ実現できるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前に話し合いを実施、最優先されるニーズを把握し対応させていただいている。状況に応じて他施設の紹介も行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様が現在できていることやお手伝いが必要なことを把握したうえで支援させていただいており、お互いに助け合い精神を大切にしながら関係を保てるよう努めている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会にいらしたご家族に日頃の暮らし方をお伝えしたり、体調面で変化が見られるときは相談させていただいたり、共に支えていけるように良好な関係を築いていけるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様のお友達が会いに来てくださったりご家族の面会時には、居室でゆっくりお話ができるように配慮している。	デイサービス利用者が複数利用しており施設長とは馴染みになっています。また、従来の理美容室への訪問希望はありませんが、知人の訪問が有り関係が途切れない様、訪問時に湯茶などを出し寛いでもらっています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係を把握したうえで座席の配置をしたり、職員が間に入り円滑な関係作りができるように支援させていただいている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了した利用者様のところへお顔を拝見しにいたり、気兼ねなく来所していただけるような雰囲気作りを心がけている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプランの作成にはご本人とお話するほか、ご家族からもお話を伺ったり、日頃の会話や表情などからも意向をできるだけ把握するようにしている。	利用者の思いや暮らし方の意向は日常の会話の中で把握するよう努めています。理念にある意思の尊重、自立、自己実現が出来るよう介護、傾聴の時間を多く費やせるよう調理の職員を配置しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前に面接し聴き取りを実施、入居後のアセスメントにも活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送りのほか連絡ノートを活用し、気付いたこと・こうしたほうが良いと感じたことなどを共有することで、利用者様一人一人に合ったケアを実践している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人と話し合うほか、ご家族や職員からも気付いたことなどを検討し盛り込んでいる。新たな状況がないようでも、新鮮な視点で確認するよう心がけている。	介護計画は基本的には2ヶ月毎に利用者、家族の意向を確認しながら見直しを行っており、職員の気付きをカンファレンスや連絡ノートで共有して現状に即した介護計画とサービス提供が出来るよう取り組んでいます。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	バイタルや食事量・水分量などととも日常生活の様子を記入、職員で情報共有するほか、介護計画作成の際に役立っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族が受診に付き添えない場合は職員と一緒に受診したり、状況に応じて臨機応変に対応させていただいている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会に参加しているほか、地域のボランティアの方々がフラダンスや歌など披露してくださっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人が馴染みの医師による継続的な医療が受診できるよう、支援させていただいている。	利用者の希望するかかりつけ医への受診は事業所が対応しています。週1回の訪問看護により利用者の健康管理が行われ、利用者や職員の安心に繋がっています。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携している市内の訪問看護ステーションの看護師が週に一度来所し、入居者の健康チェックの他、職員から気になる症状の報告・相談に乗っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には医療機関と細かく話し合いをしており、入院中にもご本人やご家族、病棟の看護師に話を聴くなど対応させていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所できることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に重度化した場合のお考えを予め伺っており、主治医や訪問看護ステーションと連携をとり対応させていただく。	重度化した場合の対応に係る指針があり、契約時に利用者や家族に説明しています。医療機関との体制、連携が整えば看取りを行っていきます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルを作成し、急変時に素早く落ち着いて対応できるようにしている。次年度からはAEDの設置を予定している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回消防の立ち会いのもと避難訓練を実施しており、夜間帯を想定した訓練も行っている。	消防署立会いのもと、年2回昼夜想定で町内会長などの協力を得ながら避難訓練を実施しています。事業所前の大学寮の方たちに災害時の協力をお願いすることを検討しています。	避難経路の確保、安全対策の構築より、利用者の安心、安全に繋がる事を期待します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様お一人おひとりを尊重し、職員は常に自分のケアを振り返り利用者様の尊厳を守るように努力を重ねている。	利用者の尊厳を守り、人格を大切に傷つけないように「トイレ」の言葉を言わず、利用者には羞恥心を感じさせないケアに努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段から自己決定を尊重するように心がけ、言葉で表現できない方には非言語コミュニケーションや表情から思いを汲み取るなど支援させていただいている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様に伺いながら、ご本人の希望やペースに沿ったケアが実践できるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日着たい洋服を選んでいただいたり、ご希望のある方には訪問理容・美容を利用されている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行事のときは特別なメニュー(お赤飯・ちらしずしなど)を提供させていただいている。出来る方には片づけなどを声かけてして下さっている。	調理担当2名の職員が献立から一日の食事の調理をしています。誕生日には利用者の好きな物を用意したり、家族と一緒に食事に出掛けています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分量は毎回記録し、必要な量が不足しているときは、ご家族や主治医に相談し対応させていただくようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを実施している。ご自分で出来ないところは職員がお手伝いして、声かけで出来る方には見守りを実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄パターンやサインを見逃さず、出来るだけトイレ排泄ができるように声かけや、さりげない誘導をこころがけている。	利用者の排泄パターンを把握し、表情やさり気ない行動を見逃さず、トイレでの自立排泄に取り組んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便のリズムを確認し、水分摂取・服薬の調整を看護師と連携して実施している。腸内環境の改善のため、オリゴ糖なども取り入れている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入りたくない気分ときは無理にお誘いせず、翌日に入っていたり、リラックスした雰囲気や大切に、楽しい会話で気持ちよく入浴できるよう配慮させていただいている。	利用者の希望や体調に配慮し週2回を基本に入浴しています。拒否の方に対しては無理強いることなく、タイミングをみて声掛けをしています。仲の良い利用者同士楽しく入浴する方もいます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ホール内にはいくつかソファが置いてあり、好きなペースでのんびりできるように工夫しているほか、夜間は照明や温度など、お一人おひとりの希望されるように対応させていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルには薬の説明書が綴られており、変更があった場合には職員が統一した情報を共有できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お一人おひとりの得意だったことや好きだったことを活かし、歌のお好きな方はカラオケを楽しまれたり、茶碗洗い・茶碗拭き、洗濯ものを畳んだりと色々な役割を持って過ごしておられる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には庭の花畑や畑の作物の実り具合を見にいっているが、なかなか希望される外出支援にはつながっていない。	利用者の体調を考慮しながら、広い庭の花や池、畑を探索しています。今年度は事業所の祭りや多く外出の機会を計画しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理ができる利用者様については所持していただいているが、殆どの利用者様は事務所で預かせていただいている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙の依頼があれば気兼ねなく利用していただけるような雰囲気作りを心がけている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールからは広い庭が見え、季節を感じていただけるよう草木や花をたくさん植えている。また、部屋の温度や明かりの調節など、快適に過ごしていただけるように配慮している。	共用空間は大きな窓からの陽がさし、庭の木々や花畑を觀賞することが出来ます。両サイドのユニットの中央に食堂兼リビングがあり皆で一緒に食事をしています。サンタリー室や洗面台上部の共有空間等工夫した造りになっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやベンチを置き、利用者様同士で談笑されたり、新聞や週刊誌をじっくりと読まれたり、思い思いに過ごせるように工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人とご家族で話し合っ決めていただいている。	居室はクローゼットが備え付けられ、利用者の使い慣れた寝具やテレビ、ソファ、家族の写真、位牌などが持ち込まれ、生活しやすく安心して暮らせるよう工夫しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	分かりづらい部分には大きな字で張り紙をしたり、利用者様のわかる力をきちんと把握し、不安にならないように配慮させていただいている。		